

日本貿易振興機構 External Trade Organization

大連代表処 Dalian Office



日本貿易振興機構大連事務所
経済信息部部長

森 詩織 さん

mori shiori

島根県松江市生まれ。小学、高校時代を北京で過ごし、2002年に東京大学教養学部に入学。卒業した2006年に日本貿易振興機構に入構し、海外調査部に所属。2010年に広島事務所に転勤し、2013年に大連事務所へ赴任した。

「大連スタイル」が発刊されました。内容もデザインも素晴らしい出来映えですね。

ありがとうございます。
大連事務所では2年前に「瀋陽スタイル」を発刊しましたが、日本企業の方からは、「大連で商品を売りたいのだが、消費市場の状況を教えて欲しい」といった相談が多く寄せられていました。そこで、大連への進出を目指す日本企業の皆様に、最初に手に取っていただけるビジネスガイドブックを作ろうと、昨年11月から取り組んできました。

短期間でこのガイドブックを作り上げたのは驚きです。

大連事務所は10人のスタッフがいますが、荒畠所長をはじめとする全員が汗を書きながら調査、執筆しました。このガイドブックが日本から訪れる企業様のF/Sの一助となれば嬉しいです。大連の人々のリアルな生活の一面を垣間見ることもできますので、お住まいの日本人の皆様にもご覧いただけたら光栄です。ご感想、ご指摘も楽しみにお待ちしています。

「大連スタイル」の発刊主旨は、大連の消費市場を取り巻く最新情報の紹介にあると思いますが、大連の経済状況は激しく変化していますね。

ここ2年ほどで日系企業を取り巻く環境は急速に変化しています。その原因には円安や人件費の高騰などが挙げられ、安価な人件費に頼ったメーカー・輸出型企業は厳しい状況になっています。

一方で、最近の進出事例をみると、サービス業や国内販売を目的とした製造業が存在感を増しています。大連に進出する外資企業は第三次産業が多くなる傾向にあり、遼寧省がまとめた昨年の外資系企業の進出件数は、サービス業が833件、製造業106件でした。

サービス業で注目されるのは、どんな部門でしょうか。

介護福祉関係がそのひとつでしょう。「大連スタイル」でも2ページを割いて介護福祉のマーケットを紹介しました。介護福祉は大連市政府も介護産業の育成に乗り出しています。そこで介護福祉の先進国である日本企業への期待が高まっているのです。介護保険の未整備などの課題はありますが、日本の強みを生かせるこの分野は有望です。すでに日系の進出事例も数件出てきています。

ところで、森さんは北京で小学、高校時代を過ごされましたか……。